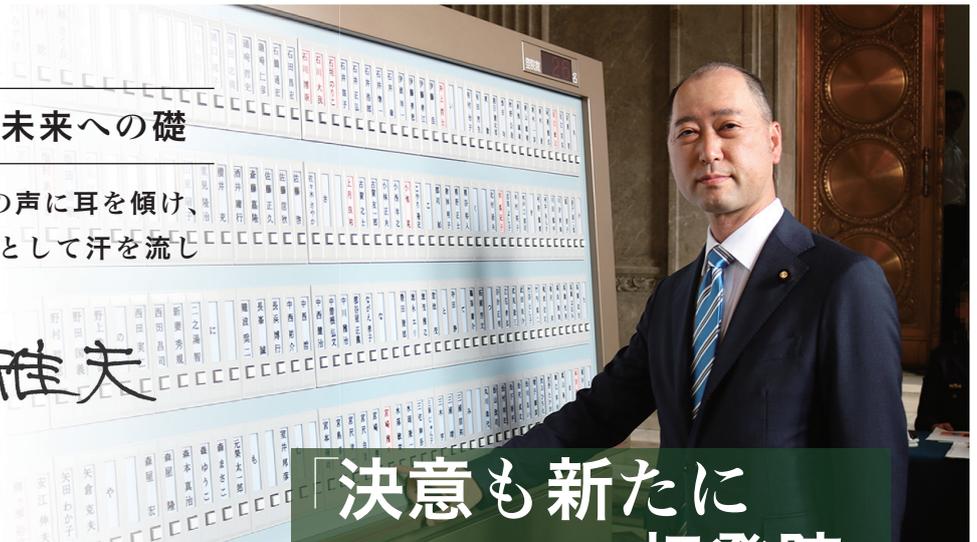


土地改良・農山漁村は未来への礎

全国をくまなく回り、皆様方の声に耳を傾け、地域と国政をつなぐパイプ役として汗を流し続けます。

参議院議員

宮崎雅夫



決意も新たに 初登院

皆様へ

このたびの参議院議員選挙におきまして、全国各地の皆様から多大なるご支援を賜り当選の栄に浴することができました。おかげさまで、先に開会された第199回国会（臨時会）に初登院することができ、皆様から寄せられた期待と負託された責任の重さを身を持って感じたところです。

未来への礎

全国各地を回り、皆様方から様々なご意見を伺う中で、地域の農山漁村を守り発展させていくこと、地域を支える人や組織を大事にすること、世界に誇る農山漁村を未来に引き継ぐことなど、改めてその重要性を痛感しています。



これからも、私が皆様に約束してきた「土地改良・農山漁村は未来への礎」を、政治活動の基本理念とし、地域と国政をつなぐパイプ役となって、地域の声を国政に反映できるように汗を流し続けていく所存です。

私達農林水産関係者に託された責務は、国民に食料を安定供給するとともに、かけがえのない美しい日本のふるさとを守り、後世にしっかりと引き継いでいくという国民的課題に添えていくことであると考えております。

まだまだ微力ではありませんが、「土地改良・農山漁村は未来への礎」をモットーに全力で取り組んで参る所存です。引き続き、ご指導賜りますようお願いいたします。

進藤議員と車の両輪と なって施策を推進

初登院には、進藤金子参議院議員も駆けつけて頂き、激励を受けました。

二人で力を合わせ、車の両輪となって強い農林水産業を創るため、皆様方の先

頭に立って邁進して参ります。

所属委員会

先の国会（臨時会）で参議院農林水産委員会と決算委員会に所属が決められました。秋に開会される見込みの臨時国会において、皆様方から伺ったご意見・ご要望等を踏まえ、きつちり発信ができるよう、研鑽して参ります。



国会事務所の 部屋が決まりました

議員会館の部屋は610号室になりました。農山漁村のムード(610)メーカーとなる部屋を目指します。上京された際は是非お立ち寄りください。

令和2年度農林水産関係予算 概算要求の概要

表1 令和2年度農林水産関係予算概算要求の骨子

総括表

区分	元年度 予算額	2年度 要求・要望額	対前年度比
農林水産予算総額	23,108	27,307	118.2%
1 公共事業費	6,966	8,436	121.1%
一般公共事業費	6,770	8,240	121.7%
災害復旧等事業費	196	196	100.0%
2 非公共事業費	16,142	18,871	116.9%

(注) 1. 金額は、関係ベース。元年度予算額は「臨時・特別の措置」を除いた額。
2. 計数整理の結果、異動を生じることがある。
3. 計数は、四捨五入のため、端数において合計とは一致しないものがある。

公共事業費一覧

区分	元年度 予算額	2年度 要求・要望額	対前年度比
農業農村整備	3,260	3,978	122.0%
林野公共	1,827	2,229	122.0%
治山	606	740	122.0%
森林整備	1,221	1,490	122.0%
水産基盤整備	710	867	122.0%
海岸	45	54	120.0%
農山漁村地域整備交付金	927	1,113	120.0%
一般公共事業費計	6,770	8,240	121.7%
災害復旧等	196	196	100.0%
公共事業費計	6,966	8,436	121.1%

(注) 1. 金額は、関係ベース。元年度予算額は「臨時・特別の措置」を除いた額。
2. 計数整理の結果、異動を生じることがある。
3. 計数は、四捨五入のため、端数において合計とは一致しないものがある。



自民党調農林・食料戦略調査会、農林部
会合同会議で予算確保の要請

令和2年度農林水産関係予算概算要求が提出されました。予算要求額は、表1のとおりとなっております。

重点事項は、①農林水産物・食品の政府一体となった輸出力強化と高付加価値化、②「スマート農業」の実現と強い農業のための基盤づくり、③担い手への農地集積・集約化等による構造改革の推進、④水田フル活用と経営安定と所得対策の

着実な実施、⑤食の安全・消費者の信頼確保、⑥農山漁村の活性化、⑦林業の成長産業化と「林業イノベーション」の推進、⑧水産改革の実行による適切な資源管理と水産業の成長産業化です。八つの柱ごとにそれぞれ施策・予算の重点化が図られています。

公共事業関係費については、現場の強いニーズを踏まえ、シーリング枠120%を超える要求となっております。農林水産業の成長産業化を進める上で、その基盤づくりは重要です。皆様とともに力を合わせ予算の確保に努めて参ります。

農業農村整備は122%の要求

農業農村整備事業に関連する予算は、表2に示すように5,388億円の要求となっております。

ほ場の大区画化や施設の老朽化対策等の実施に係る新規採択は、当初予算でしか対応できませんし、事業を計画的に進める上でも、当初予算の確保は必須です。

また、「防災・減災、国土強靱化のための3カ年緊急対策」や「TPP等関連対策」等に係る経費については予算編成過程で検討することとされております。これらも含め、

選挙戦等を通じ、全国各地の多くの皆様から頂いたご意見等を踏まえ、予算確保に向けしっかりと対応していく所存です。

なお、予算関係の要望等がありましたら国会事務所まで連絡頂けると幸いです。



自民党調水産部会、水産総合調査会合同
会議で発言

表2 農業農村整備事業関係予算 概算要求の概要

区分	元年度 予算額	2年度 要求・要望額	対前年度比
農業農村整備事業(公共)	3,260	3,978	122.0%
農業農村整備関連事業 (非公共)	508	631	124.3%
(農地耕作条件改善事業 農業水路等長寿命化・ 防災減災事業)			
農山漁村地域整備交付金 (公共)	650	780	120.0%
(農業農村整備分)			
計	4,418	5,388	122.0%

※ 計数は四捨五入のため、端数において合計とは一致しないものがある。